

令和3年度 フェリシアこども短期大学

免許更新講習募集要項（幼稚園教諭対象）【対面講習】

はじめに

平成19年6月20日に「教育職員免許法」が改正され、平成21年4月より教員免許更新制が導入されました。教員免許更新制は、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教育の場において指導し、社会の尊敬と信頼を得ることを目指すものです。教員免許状を更新するためには、修了確認期限前の2年間において、大学などが開設する30時間（必修講座6時間、選択必修講座6時間、選択講座18時間）以上の免許状更新講習を受講・修了した後、免許管理者に申請して修了確認を受けることが必要です。

1. 受講資格

免許状更新講習を受講できる方は、昭和31年4月2日～昭和33年4月1日、昭和41年4月2日～昭和43年4月1日、昭和51年4月2日～昭和53年4月1日および新免許状所持者（平成21年4月1日以降に初めて教員免許状を授与された方）で10年後の年度末に有効期限の満了日を迎える方で、普通免許状又は特別免許状を有し、かつ、以下に該当する方です。

- (1) 現職教員(校長、副校長、教頭を含む。ただし、指導改善研修中の者を除く)
 - (2) 実習助手、寄宿舎指導員、学校栄養職員、養護職員
 - (3) 教育長、指導主事、社会教育主事、その他教育委員会において学校教育又は社会教育に関する指導等を行う者
 - (4) (3)に準ずる者として免許管理者が定める者
 - (5) 文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程の教員
 - (6) 上記に掲げる者のほか、文部科学大臣が別に定める者
- また、今後教員になる可能性が高い者として、
- (7) 教員採用内定者
 - (8) 教育委員会や学校法人などが作成した臨時任用(または非常勤)教員リストに登載されている者
 - (9) 過去に教員として勤務した経験のある者
 - (10) 認定こども園で勤務する保育士
 - (11) 認可保育所で勤務する保育士
 - (12) 幼稚園を設置する者が設置する認可外保育施設で勤務している保育士も更新講習を受講することができます。

●制度に関する詳細は、文部科学省HPをご覧ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm

●文部科学省HPにて修了確認期限がチェックできます。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/003/index1.htm

2. 開講日程・会場

【日程】 2021年8月5日(木)、6日(金)、7日(土)、10日(火)、11日(水)
時間：9時～17時20分（各日講習終了後、修了認定試験を含む）

【会場】 フェリシアこども短期大学 〒195-0054 東京都町田市三輪町 1135
アクセスについてはホームページでご確認ください。

3. 募集定員 50名（Aコース・Bコース合計）

※AまたはBコースのいずれかを選択してください。

4. 申込受付期間、申込の流れ

申込受付日：6月16日（水）9：30 より 6月18日（金）23：59まで

申込方法：ホームページからの予約受付となります。（電話による受付はできません）

申込の流れ

- ① 本学ホームページ「免許状更新講習情報」にアクセスし、申込フォームに必要事項を入力し送信すると申込み受付済メールが届きます。（この時点で受講可否は確定していません）
- ② 申込が多数の場合は抽選を行います。その後、受講が決定した方に6月21日以降、順次、予約完了メールを送信いたします。同時に「事前アンケート」のリンクをお送りしますので、1週間以内にご回答ください。
※携帯から申込みの場合、@meisen.ac.jpのメールが受信できるようにしてください。
※迷惑メールフォルダに届いてしまう場合があります。ご確認ください。
※申込フォーム送信後一週間以上結果が送信されない場合はお問い合わせください。
- ③ 予約完了メールを受信した方は下記の書類を作成の上、本学へ郵送してください。
「免許状更新受講申込書(2021年度)」
上記の書類は6月22日以降ホームページ上に掲載します。PDFファイルをダウンロードしてご記入ご捺印ください。また受講申込書について、**写真の貼付、証明者記入欄には幼稚園等の勤務先の公印での捺印が必要**となります。
- ③ 本学に申込書到着後、受講資格（募集対象等）を確認、受講料の振込案内のメールを送信します。受講料は、本学が指定する日までに銀行からお支払いください。

※原則キャンセルは受け付けておりませんが、やむを得ずキャンセルされる場合は必ずご連絡ください。

※Aコース、Bコースの人数に偏りが生じた場合、コースの変更をお願いする場合があります。

5. 講習内容

	必修領域6時間	選択必修領域 6時間	選択領域18時間
Aコース 計30時間	幼児教育の最新事情	学校における危機管理上の課題	保育を巡る近年の状況について（3時間） ～養護の視点で保育を考える～
			保育を可視化するポートフォリオ（3時間）
			保育の情報化（6時間）
			保育内容（言葉） ～昔話絵本の探究～（3時間）
			保育内容（健康） ～生活リズムの乱れと健康～（3時間）
Bコース 計30時間	幼児教育の最新事情	幼児教育における国際理解及び異文化理解教育	世界の幼児教育 ～保育環境と遊びの視点から～（3時間）
			保育内容（表現） ～自然遊びと子どもの表現～（3時間）
			保育を可視化するポートフォリオ（3時間）
			保育を巡る近年の状況について（3時間） ～養護の視点で保育を考える～
			保育英語（3時間）
			感染症対策と安全管理（3時間）

(1) 「必修講習」 A・Bコース合同 計6時間

幼児教育の最新事情

◎子どもの生活の変化を踏まえた課題 担当：古橋真紀子（フェリシアこども短期大学講師）
◎国の教育政策及び世界の教育の動向 担当：石見容子（フェリシアこども短期大学講師）
◎子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見 担当：佐治量哉（玉川大学准教授）
◎教員としての子ども観、教育観等についての省察 担当：森下匡子（フェリシアこども短期大学非常勤講師）

(2) 「選択必修講習」 A・Bコース別、各6時間

Aコース

タイトル	講習内容
学校における危機管理上の課題 担当：三浦由美（小田原短期大学准教授）	「学校における危機管理（リスクマネジメント）」つまり、発生する可能性のある事故や事件を予防する措置と、「学校における危機管理（クライシスマネジメント）」つまり、起こってしまった事件・事故に関する事後措置の理解を深める共に、実例（実際に起こった事故とそれに基づいた判例）を通して、「危機発生への対応」を学び、各校での研修の一助とできる内容とする。

Bコース

タイトル	講習内容
幼児教育における国際理解及び異文化理解 担当：萩原元昭（フェリシアこども短期大学非常勤講師）	外国籍の園児にとって最善の利益を左右する園環境のあり方、地域・地球の一市民としての園児のESDへの参画能力、及びファシリテーターとしての教師の役割についてスウェーデンの事例から学ぶ。さらに乳幼児期からのESDへの参画の重要性及び教師によるファシリテーターとしての有効な役割を可能とする園環境のシステム（アコモデーションシステム）についてアクティブラーニングを通じて学習する。

(3) 「選択講習」 A・Bコース別、各18時間

Aコース

タイトル	講習内容
保育を巡る近年の状況について～養護の視点で保育を考える～ 担当：横溝一浩（フェリシアこども短期大学准教授）	教育の現場における発達障害の支援は、これまでの支援歴をふまえた上で、長期的な視点に立って、継続的な支援方針を立案することが求められています。そのため、早期の支援は、その後の子どもの「生きづらさ」の緩和に大きく関わってきます。本講義では、原則として知的な遅れの認められない未就学児の事例を紹介しつつ、養護の視点として応用行動分析および認知行動療法（SST）に基づいた支援方略を考察します。
保育を可視化するポートフォリオ 担当：久保寺節子（フェリシアこども短期大学非常勤講師）	現在「幼児理解に基づいた評価」として、ポートフォリオやドキュメンテーションが注目されています。それは、子どもの姿を可視化し丁寧にみるからです。具体的に園での取り組みの様子をご紹介します。みなさんも一緒に考え、挑戦してみましょう。
保育の情報化 担当：百瀬志麻（フェリシアこども短期大学教授）、福田尚子（フェリシアこども短期大学非常勤講師）、近澤友理（フェリシアこども短期大学助教）	情報通信技術（ICT）を、保育者（教育者）の作業効率化を助けるだけでなく、幼児期に必要な直接的な体験を支える「ツール」として保育や幼児教育の場において有効であるという視点から講義を進めていく。そして、チームディスカッションや事例紹介を通じて、具体的な活用方法や導入する上での課題について深く考察する。
保育内容（言葉）～昔話絵本の探究～ 担当：相澤京子（フェリシアこども短期大学教授）	言葉遊び絵本の紹介、保育における絵本の活用について、昔話と昔話絵本
保育内容（健康）～生活リズムの乱れと健康～ 担当：住田実（フェリシアこども短期大学教授）	スマホとブルーライトが氾濫する現代。その便利さと裏腹に幼児をはじめ全年代層にとって「睡眠と生活リズムの乱れ」が社会問題になっています。講習ではNHK映像教材の企画監修者の立場から、興味深い実験映像をもとに解説します。

Bコース

タイトル	講習内容
保育を巡る近年の状況について～養護の視点で保	教育の現場における発達障害の支援は、これまでの支援歴をふまえた上で、長期的な視点に立って、継続的な支援方針を立案することが求

育を考える～ 担当：横溝一浩（フェリシアこども短期大学准教授）	められています。そのため、早期の支援は、その後の子どもの「生きづらさ」の緩和に大きく関わってきます。本講義では、原則として知的な遅れの認められない未就学児の事例を紹介しつつ、養護の視点として応用行動分析および認知行動療法（SST）に基づいた支援方略を考察します。
保育を可視化するポートフォリオ 担当：久保寺節子（フェリシアこども短期大学非常勤講師）	現在、「幼児理解に基づいた評価」として、ポートフォリオやドキュメンテーションが注目されています。それは、子どもの姿を可視化し丁寧にみることができるからです。具体的に園での取り組みの様子をご紹介します。みなさんも一緒に考え、挑戦してみましょう。
保育内容（表現）～自然遊びと子どもの表現～ 担当：富金原光秀（フェリシアこども短期大学講師）	美術造形室から一歩足を外に踏み出せば里山へと続く特徴ある学び舎で、私たちが数十年にわたり落としてきた大切なものを探しあてるとともに、未知の世界への発見の旅に出かけていきます。そこは多様性・主体性・アート・地域・驚きが現前する場所となります。
世界の幼児教育～保育環境と遊びの視点から～ 担当：松田こすえ（フェリシアこども短期大学講師）	海外の幼児教育の具体例をもとに、背景や特徴から子どもの遊びの環境について考える。子どもの幸せや、より良い社会につながる保育を目指したいという世界共通の考え方への理解を深め、日本への示唆を得ることを目的とする。
保育英語 担当：JonesMary（フェリシアこども短期大学非常勤講師）	この講座では自分の勤務先で使える英語の絵本や歌などの活動を紹介します。講習は日本語で進めながら、英語教育論や第二言語習得論などをちょっと触れてから、現在の日本の英語教育を短く紹介する。さらに、園での英語教育のあり方と教え方を話し合い、講習の中でお互いに英語の活動を体験しながら学んでいく。
感染症対策と安全管理 担当：三浦由美（小田原短期大学准教授）	新型コロナウイルスを含めた感染症対策を軸に、具体的な園活動（食事介助など）ごとの予防策、偏見差別への対応、抵抗力を高める指導、本講師が実際に行った最新手洗い・消毒実験の結果などを取り入れた内容とする。

6. 修了認定試験

修了認定試験は各日、講習終了後に実施します。

7. 受講料

必修講習	6時間	8,000円
選択必修	6時間	8,000円
選択講習	18時間	24,000円
合計		40,000円

8. 受講料の返還

自然災害等、又本学の都合による講習の中止の場合は返還いたします。

免許状更新講習前日以降に受講者の都合によりキャンセルが発生した場合は、返還できません。講習開始日直前までのキャンセルの申し出については、教材の準備で用意した物品の費用を差し引く場合があります。

9. 受講上の注意事項

本学の講習は必修・選択必修・選択のセット受講です。必修のみなど単体での受講はできません。また、免許状更新講習の時間は教育職員免許法により「30 時間以上」と決められていますので、遅刻・早退・欠席した場合は修了と認められません。ご注意ください。

フェリシアこども短期大学 免許更新室

TEL 044-986-9111